

仁賀保高校の特色は何か？ 他校にない取り組みや行事

仁賀保高校は秋田県の高等学校の中で、他校にはない特色を持った高校です。在校生や保護者のみなさんには、今一度本校の特色を確認していただき、仁高教育の特殊性を自負していただければ幸いです。沢山ある中からいくつかを紹介します。

1 鳥海山の全容が大迫力で見られるロケーション

みなさんには、日常の見慣れた光景かも知れませんが、私にとっては心がゆさぶられ、感動を呼ぶ偉大で神秘で優雅な山です。仁賀保高校に勤務できて本当に良かったです。

2 全校鳥海登山

今年は 7 月 1 8 日 (木) を予定しています。私は新人職員として、6 月 7 日 (金) 開校記念日に恒例となっている偵察登山で、一足先に鳥海山の魅力を堪能してきました。秋田県で登山を取り入れている学校は、本校を含めた二校です。一生の思い出に残る行事です。

3 地域貢献を意識した活動

部活動単位で、さまざまな取り組みが見られます。他校にはない B V 会やフラダンス同好会をはじめ、茶華道部等の活動を四月から見てきました。学校行事や総合的な探究の時間、授業等で今後も地域との連携を進めていきます。

4 地域との協働による学校行事

にかほ市との連携協定を締結した本校では、8 月 3 1 日 (土) に防災訓練を計画中です。全校生徒が関わる初めての試みです。学校祭も「にかほっと」で開催の予定です。

5 情報メディア科の存在

秋田県でオンリーワン、唯一無二の学科です。平成 1 5 年に設立、今年度 1 7 年目を迎えます。卒業生は、I T 業界や少年ジャンプで大人気の漫画「チェンソーマン」の藤本タツキ (樹) 先輩を始め、多方面で活躍しています。最近は e スポーツにも参加し、先月秋田県 e スポーツ協会の役員も来校し、今後の支援を確認しました。

6 部活動の活性化と地域貢献

部活動である以上、勝利を目指すのは基本です。しかし勝利至上主義ではなく、自分で選んだ部活動で達成感が得られるように、課題を明確にし、改善方法を考え、それを駆使して繰り返し練習した成果を実践で試す、というプロセスに力点を置いています。さらに、地域の方々に応援してもらえるように、部活単位でボランティアに励んでいきます。

7 少人数によるきめ細かな教育実践

現在、1 学年普通科の定員は 8 0 名、情報メディア科は 3 5 名です。少子化等の影響もあり、本校の生徒数は、定員に満たない状況です。しかし現状を悲観的に考えないでください。人数が少ないということは、少人数できめ細かな指導を受けることができますし、先生方がみなさん一人ひとりをよく見て対応 (アイコンタクト) してくれます。生徒のみなさん、プラス思考で考えて行動 (Consider + Action) しましょう。

仁賀保生に贈るファイブスターズ 5 つ星

- ★ アイコンタクト (i c o n t a c t) を心がけてください。目と目で通じ合うのみならず、「よく考えて行動する」という意味を理解して活動しましょう。
- ★ メモ をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。
- ★ 意識力 = 意思・意志 (瞬間) + 気力 (持続) です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。
- ★ G T H は、「疑問 → 探究 → 発見」という学びの方程式です。
- ★ 「自己有用感」を高めてください。そのためにあなたはなにに挑戦しますか？
自分が誰かの役に立つためには、自己肯定感を持つことが大切なのです！